Arraiolos

について

アライオロス
アライオロス（Arraiolos）はアレンテージョ（Alentejo）地方の楽しい町で、町の基礎は紀元前2世紀に築かれました。ディニス王（D. Dinis）（1279年～1325年）の命令で中世の城が築かれましたが、まもなく町は城壁の外へと拡大しました。町の重要な芸術的遺産の1つに、極めて美しい絵画を収蔵した16世紀のサルヴァドル教会（Igreja do Salvador）があります。

アライオロスの有名なじゅうたんのおかげでこの町の名前は世界的に広く知られています。地元の熟練した男女の職人によってここで生産されているじゅうたんは16世紀もの昔の文書の中でも触れられています。美術史家の中にはこの美術の研究と特性描写を専門に取り組んでいる人もおり、その重要性は長い年月の間に一層高まりました。使用される図柄の種類によって3つの期間に区分することができます。第1期（18世紀）はペルシアじゅうたん（最も優れた手本と見なされています）の装飾的な影響を示す構成をベースとしていました。第2期（これも18世紀）には人物や動物など一般的なものから発想を得たデザインが導入されました。そして第3期（18世紀末～19世紀）には比較的密度が薄く、より一層様式化された図柄が取り入れられています。

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com